平成２４年度　別府大学，立命館アジア太平洋大学，日本文理大学への開放科目一覧（教育福祉科学部）2012/3/28

情報社会文化課程　（平成24年度）

コース	授業科目	単位	開講年	実施時期	曜限	担当者	備　　考
社会文化コース	A･A地域論Ⅰ	2	24	後	木4	甘利弘樹	
総合表現コース	身体表現基礎	1	24	前	木5	麻生和江	公開授業登録科目
	身体感覚の知覚演習	2	24	前	金5	麻生和江	公開授業登録科目

※対象学年は，指定のあるものを除き全学年対象である。

授業科目名（科目の英文名）
A・A地域論I (Study of Asia and Africa Areas Ⅰ)

区分・分野・コア
コース科目 社会文化コース 必修

必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員
必修	2	2	教	後期		甘利弘樹 内線　7544 E-mail　hiamari@cc.oita-u.ac.jp

【授業のねらい】

20世紀におけるアジア・アフリカ地域の歴史的展開を、映像に基づいた受講生の発表とともに検討し、グローバル化が進む現代世界における当該地域の位置づけを明らかにする。

【具体的な到達目標】

1. アジア・アフリカ地域の植民地支配から独立までの過程を把握することができる。
2. 現代のアジア・アフリカ地域が歴史的にどのように位置づけられるか考えられるようになる。
3. 将来のアジア・アフリカ地域の発展する方向について、思索をめぐらすことができる。

【授業の内容】

1. ガイダンス
2. 20世紀の到来とアジア・アフリカ
3. 第一次世界大戦とアジア
4. 第一次世界大戦とアフリカ
5. 戦間期のアジア
6. 戦間期のアフリカ
7. 第二次世界大戦とアジア
8. 第二次世界大戦とアフリカ
9. 大戦後の東アジア
10. 大戦後の東南アジア
11. 大戦後の南アジア
12. 大戦後の西アジア
13. 大戦後のアフリカ諸国
14. 現代におけるアジア・アフリカ間の友好と軋轢
15. アジア・アフリカ地域の展望
16. 定期試験、テスト

【時間外学習】

発表のために十分な準備が必要です。図書館の本・新聞・インターネット等をもとに情報を収集し、アジア・アフリカ地域について常に理解を深めてください。

【教科書】

使用しません。

【参考書】

授業中、適宜指示します。

【成績評価の方法及び評価割合】

発表35％・討論への参加状況35％・試験30％。

【注意事項】
ガイダンスの際に指示します。

【備考】
社会人向けの公開授業とします。

授業科目名（科目の英文名）
身体表現基礎 (Body Expression Basics)

区分・分野・コア
コース科目 総合表現コース 必修

必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員
必修	1	1	教	前期		麻生和江 内線　7627 E-mail　kaso@cc.oita-u.ac.jp

【授業のねらい】

表現形式としての身体運動表現に理解を深め，技能を高め、作品創作の基盤的素養を体得する。

【具体的な到達目標】

1.人前で演技が出来るようになる。
2.素材からモティーフを引き出し動きのフレーズにまとめることができるようになる。
3.身体表現のまとめとして作品を構成でき、演技が出来るようになる。
4.作品、舞台、客席等、会場等に関わる基本的な名称や意味、機能を理解する。
5.知的障がい者とダンスで交流できるようになる。

【授業の内容】

1.オリエンテーション
2.自己紹介パフォーマンス
3.リズムダンス
4.動き伝え
5.風景描写
6.動く風景
7.音から起こす動きのフレーズ
8.からだリズム
9.舞踊作品の色々なきまりについて
10. 作品創作①はじめ
11. 作品創作②なか
12. 作品創作③おわり
13. 作品創作④修整
14. 発表会
15. 鑑賞会、まとめ

【時間外学習】

作品創作学習に有効と考えられるVTRや音楽等を収集ておく。作品鑑賞学習を実地で行うことを予定しているが、詳細は事前に授業で知らせる。
5月・6月･7月第三土曜日・午前中実施の知的障がい者との交流会に1回以上は必ず参加すること。

【教科書】

随時配布

【参考書】

随時配布

【成績評価の方法及び評価割合】

作品点　20%　　各時間の課題到達状況60 %　課題レポート20%

【注意事項】

・授業名称は異なるが、情報社会文化課程総合表現コース、学校教育課程保管体育専修、人間福祉科学課　程スポーツ健康分野の学生が合同で受講する。

・指定のウエアーがあるがオリエンエテーション時に説明する。

【備考】

. 14時間目の発表会は，授業時間外に他科目の授業と合同発表会を実施する。

授業科目名（科目の英文名）
身体感覚の知覚演習 (Body perception)

区分・分野・コア
課程共通科目 情報社会文化課程 選択必修

必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員
選択必修	2	1	教	前期		麻生和江 内線　7627 E-mail　kaso@cc.oita-u.ac.jp

【授業のねらい】

身体全身の重さ。大きさ、動き方などを感じとることによって、身体の存在を知覚し身体性への認識と知覚能力を高める。

【具体的な到達目標】

1.人間の表現行為としての舞踊について理解する。
2.芸術としての舞踊について理解する。
3.教育としての舞踊について理解する

【授業の内容】

1. ガイダンス
2. 脱力
3. 歩行
4. 身体を動かす
5. 観察
6. 人型
7. 人間粘土
8. 転がる
9. 起きあがる
10.他者からの刺激
11.条件を付けて即興①1人
12.条件を付けて即興②集団
13.条件を付けて即興③パフォーマンスとして
14.コンタクト・インプルビゼーション
15.発表会・まとめ

【時間外学習】

発表会は，他の科目受講生作品とともに時間外に実施する。

【教科書】

随時配布

【参考書】

随時配布

【成績評価の方法及び評価割合】

毎時課題到達状況70%　最終パフォーマンスでの目標達成度30%

【注意事項】

・受講生の状況に応じて授業内容の順序変更することがある。

【備考】

・特になし